

# ひびき通信

平成 29 年  
2 月版

## ビールでほろ酔い気分

### ご家族とスタッフも楽しく、おいしく交流

グループホーム響の家族会・新年会が一月二十二日に当センターで開催されました。入所されている方々のご家族とスタッフの交流をはじめ、ご家族同士の親交を兼ねて開催されました。

### 恒例お寿司の屋台も登場 新鮮の握り寿司に舌鼓

今年で五回目となった家族会・新年会にはご家族の方々



今年目標を披露するスタッフたち

十三名が参加されました。新年会に先立って開かれた家族会では、この一年間、入居されている方々の顔ぶれもスタッフの顔ぶれも変わりがなかったことが報告されました。ご家族からは普段のケアについて「よくみていただいていた」「できるだけ外出の機会をつくってほしい」などの意見が寄せられました。

このあとフロアに会場を移

して、男性入居者の元気いっぱい「かんぱーい」の音頭で新年会がスタート。入居者たちもこの日ばかりはちよっぴりビールをたしなんでほろ

握りたてはやっぴりおいしい今年もボランティアでお寿司を握ってくれた永井さん。



### 介護ロボットや人材不足で意見交換

グループホーム響の運営推進会議がこのほど当センターで開催されました。運営推進会議は地域との連携とサービスへの理解を深めることを目的に隔月で開催されています。

### グループホーム響 運営推進会議を開催

この会議では看取り期に入っている入居者のケアの状況などの報告があった後、人手不足となっている介護現場の状況や介護ロボットなどについて意見を交換しました。



笑顔で記念撮影

酔い気分になっていました。今年も恒例となった元寿司職人の永井彰さんが寿司屋台を

出店してくれました。目の前で永井さんが握るマグロやイクラの軍艦巻きなどの生寿司に、ご利用者もご家族も「おいしいね」と何度もおかわりをして、あつという間に平らげてしまいました。お寿司の他にも、海老マヨネーズ、鳥の唐揚げ、高野豆腐と椎茸の煮物などの和洋とりどりのバイキングも用意され、盛りだくさんのメニューにご利用者

もご家族様も大満足でした。会の途中では、グループホームの職員一人ひとりが今年の目標をテーマに自己紹介。「料理上手になる」「ダイエツトする」などハードルの高い？思いの年の抱負に会場も笑いに包まれていました。終始、和やかな雰囲気の中、参加された方々も職員たちも「楽しくおいしい一日」を過ごしていました。

## や神社や 平神社で 須賀神社で 初詣

### 今年一年、笑って元気に

#### 冬の寒さにもめげずしっかりと参り

冬晴れの青空が広がった新春のひと時、デイサービス響とグループホーム響では、歩行リハビリを兼ねて琴平神社や須賀神社に初詣に行ってきました。

麻生区にある琴平神社は、天照大神を祭る神社として古くは江戸時代の頃から地域の信仰を集めてきた神社です。須賀神社は、地元栗谷にあるしだれ桜で有名な神社です。

冬晴れとなったこの日、ご利用者たちは、真っ青な空にくっきりと立ち上がる大きな鳥居を見上げながら、さっそくお賽銭を上げて「どうか元気で過ごせますように」とお祈りしていました。

